



中学校部会会報

全日本音楽教育研究会

平成29年9月12日発行 通算第74号

新しい任期のはじめに



全日本音楽教育研究会中学校部会長
風見 章 (杉並区立泉南中学校長)

今年度当初、作成途中の『平成29年度全日音研中学校部会支部長名簿』を確認しながら、各支部の支部長先生方のお名前を拝見していました。長い間、その支部を代表され、また本会の活動にご尽力いただいた先生のお名前が消え、新たな支部長先生のお名前が記されている地区があり。また、引き続き支部長先生としてご活躍いただく、顔なじみの先生のお名前もあり。名簿を眺めながら「そうか、〇〇支部の支部長先生はご退職されたんだ。昨年度の全国大会の時に色々お話しさせてもらったな……」と、その時を懐かしく思い出すことが多くなった昨今です。

さて、平成28年度の本会の全事業は、全国各支部のご協力の下、無事に終えることが出来ました。また、昨年度の全国大会・函館道南大会では全国から多くの参加者を数え、意欲的な公開授業や感動的な中学生オペラ等の記憶を残しながら閉幕しました。北海道音楽教育連盟、そして大会実行委員会の皆様のご尽力に深く敬意を表します。さらに、全国各支部の支部長先生や会員の皆様のご協力にも心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

中学校部会常任理事は昨年度までの一任期を無事に終え、平成29・30年度の新しい任期がスタートいたしました。その役員の方の運営で6月23日(金)江東区文化センターにて全国理事会が開催されましたが、多くの支部長先生や代理の先生方が校務ご多忙な時期にも関わらずご出席下さいました。心より御礼申し上げます。

全国理事会では各支部の情報交換もなされ、支部長先生方におかれては各支部の運営に様々なご苦労があることが再認識されました。どうか、全国各支部の情報を共有して、自地区の運営に役立てて頂ければ幸いです。また、全国理事会後の研修会では函館市立西中学校、近藤基子先生の授業実践研究発表と文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官でいらっしゃる臼井学先生にご講演を頂きました。

今年度の全国大会は沖縄県において「つなげよう未来へ 伝え合おう 音楽 ちむくぐる」を大会主題として11月1日(水)、2日(木)に開催されます。今回は小中学校・高等学校・大学・特別支援学校、同時開催の総合大会となりますが、開催地は昨年度の北の大地・函館から南の島・沖縄へ。日本の「広さ」を感じる最長距離を隔てての全国大会です。

また沖縄県は、全日音研全国大会開催は初めてになります。沖縄県音楽教育研究会、大会実行委員会の皆様には大変なご苦労をおかけいたしますが、沖縄県で再び全国の先生方にお会いできるのを楽しみにしております。

それでは、皆様方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます……

今年度も全日本音楽教育研究会中学校部会をよろしく願いいたします。

Contents

- P1 会長あいさつ 全日音研中学校部会長 風見 章
- P2 事務局長あいさつ 事務局長 荒川 徳子 / 全国理事会
- P3 研修会：授業実践発表「喜びを実感できる 鑑賞の深まりをめざして」
北海道函館市立西中学校 教諭 近藤 基子先生
講演 「今次改訂の趣旨とこれからの音楽教育」
文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 臼井 学先生
- P4 沖縄大会《総合大会》の概要
大会案内・Information

発行

全日本音楽教育研究会 中学校部会

東京都杉並区堀内 1-3-1

杉並区立泉南中学校内

会長 風見 章

音楽教育発展のために



事務局長 荒川 徳子

(清瀬市立清瀬第二中学校長)

今年は7月、8月と各地で大雨による被害が出ました。被害に遭われた方々へ心よりお見舞い申し上げます。

中学校部会事務局長として3年目に入りました。風見部会長とともに、全国各支部や他校種部会との連携を深めることはもちろんのこと、本部から全国への迅速な情報発信を行いながら、音楽教育発展のために今年度も精一杯責任を果たしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

さて、中学校部会の全国理事会が6月23日(金)、東京都江東区文化センターにて開催されました。今年度も25支部の支部長先生に出席していただきました。静岡県支部長の山崎泰之先生と広島県支部長の飯田美智子先生の議事進行のもと、平成28年度事業報告、会計報告、監査報告の審議を行い、承認を得ました。その後役員改選が行われ、風見 章部会長以下役員全員が承認されました。続いて平成29年度の事業計画、予算案の審議も行いましたが、全て承認を得ることができました。議事終了後、情報交換も行いました。今年度は時間も十分あり、各支部の活動の様子や抱えている課題を共有することができました。この情報交換は貴重な時間となっています。

理事会終了後の研修会では、函館市立西中学校の近藤基子先生の実践授業研究発表のあと、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官の臼井 学先生に「今次改訂の趣旨とこれからの音楽科教育」という演題でご講演いただきました。本当にありがとうございました。

今年度の全国大会が「青い海、青い空」の沖縄県で11月1日(水)、2日(木)に開催されます。本部事務局長と他校種の部会長が沖縄を訪問し全国大会へのご理解とご協力をお願いいたしました。

沖縄県の先生方は日々の校務をこなしながら、全国大会成功に向けて、着々と準備を進めていらっしゃいます。どうぞ、11月1日(水)、2日(木)の全国大会沖縄大会には全国から多くの先生方が参加され、大会を盛り上げていただきたく、お願い申し上げます。

◆ 全国理事会 ◆

日時 : 平成29年6月23日(金) 13:00~14:50
会場 : 江東区文化センター 会議室
司会 : 事務局次長 佐藤 隆弘



理事会は、真武公司副会長の開会の言葉で始まった。続いて風見 章部会長より、「各都道府県支部との連携を深めながら、全日本音楽研究会中学校部会としてさらに活動を活発化させていきたい」という挨拶があった。

議事に入り、議長に選出された静岡県の山崎泰之支部長と広島県の飯田美智子支部長の進行により、平成28年度事業報告、会計報告、会計監査報告、平成29年度役員・理事の紹介、活動方針と事業計画、予算、表彰者等の審議が行われ、すべて承認された。その後、志村誠一郎調査研究部長より昨年度の調査研究報告と今年度の調査研究の目的、内容、方法についての説明、西尾晃明会計部長より今年度の会費についての説明があった。

続いて各支部の情報交換が行われ、大会案内や重点的な取り組み、研究、研修、学習指導要領改訂を見据えた取り組み等が各支部長より熱く語られた。最後に、全日音研本部事務局長の小松康裕先生より平成29年度各地区音研大会の紹介や2020年度以降の全国大会(輪番)開催県についての説明があり、小牟田 啓副会長の閉会の言葉で終了した。

◆ 研修会 ◆

第1部 授業実践研究発表

「喜びを実感できる 鑑賞の深まりをめざして」

北海道函館市立西中学校 教諭 近藤 基子 先生



函館市は市民オペラや学生オペラが盛んな街で、オペラを身近に感じることができる環境が育まれてきた。そこで、「登場人物の音楽表現などを手がかりに、オペラのよさや美しさを味わって鑑賞しよう」という題材を設定し、オペラ「アイーダ」を教材として研究を行った。

思考・判断し、表現する一連の過程を重視し、知覚・感受した音楽の特徴と登場人物の音楽表現などを手がかりに、オペラにおける音楽の役割についての理解を深めながら、自分にとっての価値を考えて鑑賞させた。さらに、学び合いを通して発展させた自分の考えを他者に伝え合う活動に取り組むことで、オペラのよさや美しさを味わって聴かせることができた。また、生徒自身が学びの過程を振り返り、自己の変容に気付くことができるよう、ワークシートを工夫した。

実際の授業では、登場人物を予想する手がかりとして、声域や速度等、知覚の部分だけでグループ交流が進められることが多く、感受した部分も話し合わせるとより個人の内面もわかる授業になったと感じた。また、「個人での思考→グループ交流で思考・判断を深める」という流れの中で、生徒全員が個人の意見をもってグループ交流に入った方が話し合いの質は高まる。そのためにも日頃の授業の積み重ねが大切であることを再認識した。

◆ 研修会 ◆

第2部 講演

「今次改訂の趣旨とこれからの音楽科教育」

国立教育政策研究所 教育課程研究センター 研究開発部 教育課程調査官
文部科学省初等中等教育局 教育課程課 教科調査官 臼井 学 先生



■改訂の基本的な考え方（中教審「答申」より）

- ①感性を働かせて、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりすることができるよう、内容の改善を図る。
- ②音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、生活や社会の中の音や音楽の働き、音楽文化についての理解を深める学習の充実を図る。

■「主語」が違ふと・・・「教師が」から「子どもが」へ 子どもを「主語」にした授業観へ

- ①何を理解しているか 何ができるか 生きて働く「知識・技能」の習得
- ②理解していること・できることをどう使うか 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ③どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

■音楽科の能力構造の再整理

- ①現行の能力構造：「情意、態度等」、「表現の能力（「音楽表現の創意工夫」「音楽表現の技能）」、「鑑賞の能力」
- ②改定後の能力構造：「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」（全教科等共通）
※学校教育法第30条第2項に示されている、いわゆる「学力の3要素」との関連を考慮して再整理された。

■音楽的な「見方・考え方」とは・・・

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。

■「音楽的な見方・考え方」を働かせた学習活動によって・・・

- ①実感を伴った理解による「知識」の習得
- ②必要感をもった理解による「知識」の習得
- ③質の高い「思考力・判断力・表現力等」の育成
- ④人生や社会において学びを生かそうとする意識をもった「学びに向かう力・人間性等」の涵養

沖縄大会《総合大会》の概要



- ◆大会主題 「つなげよう未来へ 伝え合おう 音楽・ちむぐる」
『ちむぐる』:沖縄の方言で「人の心に宿る、より深い思い」
- ◆日程 平成29年11月1日(水)・2日(木)
- ◆会場 琉球大学教育学部附属小学校・浦添市立浦成小学校・浦添市てだこホール
沖縄県立鏡が丘特別支援学校・沖縄産業支援センター・沖縄コンベンションセンター劇場棟

○第1日目 中学校部会 研究主題「響き合う思い ともにわかち合う授業づくり」 会場:浦添市てだこホール(大ホール、市民交流室)

<公開授業Ⅰ> 9:30~10:20 研究協議 11:40~12:30

会場	学校名	題材名	授業者	助言者
⑦ 大ホール	宜野湾市立宜野湾中学校 (第2学年 歌唱)	日本の歌の美しさを味わおう 教材:「花の街」	大山 めぐみ	福岡県教育庁 教育振興部 義務教育課 指導主事 掛橋 賢義
⑧ 市民交流室	浦添市立港川中学校 (第2学年 創作)	和音の動きに合わせた旋律をつくろう 教材:生徒作品「My Melody」	山根 かなみ	東京音楽大学 専任講師 和田 崇

<公開授業Ⅱ> 10:35~11:25 研究協議 11:40~12:30

会場	学校名	題材名	授業者	助言者
⑨ 大ホール	うるま市立具志川中学校 (第2学年 鑑賞)	郷土や世界の様々な音楽の特徴から 音楽の多様性を理解して鑑賞しよう 教材:「谷茶目」ほか 世界の民族音楽	仲地 綾子	熊本市立北部中学校 校長 上野 正直
⑩ 市民交流室	南風原町立南星中学校 (第2学年 器楽)	それぞれの楽器の特徴を生かして、パート の役割を感じ取りながら合奏しよう 教材:「ていんさぐぬ花」	宮城 千枝美	宮崎大学 教育学部 教授 菅 裕

<ワークショップ> 15:15~16:45 会場:浦添市てだこホール(小・中・高)
「組踊」「三線」「合唱」「授業づくり」

○第2日目 全体会 9:20~13:00 会場:沖縄コンベンションセンター劇場棟
開会行事・研究概要・指導講評・記念講演・記念演奏・閉会行事

平成29年度 研究大会案内

- 10月27日(金) 東海北陸小中学校音楽教育研究大会 石川大会(金沢市)
- 10月27日(金) 中国・四国音楽教育研究大会 香川大会(観音寺市・三豊市)
- 11月10日(金) 北海道音楽教育研究大会 オホーツク北見大会(北見市)
- 11月10日(金) 東北音楽教育研究大会 秋田大会(秋田市)
- 11月10日(金) 関東音楽教育研究会 栃木大会(宇都宮市)
- 11月17日(金) 近畿音楽教育研究大会 大阪大会(大阪市・堺市・和泉市・和泉佐野市・田尻市)

Information

全日音研中学校部会ホームページも是非ご覧ください。 <http://zennichionken-jhs.jp/>